

愚を繰り返すな日本

黒川 清さんに聞く

変わらなければ、日本の将来はない

国会の福島原子力発電所事故調査委員会が「事故は人災」と断じた最終報告書を出して解散してから4カ月。委員長を務めた黒川清政策研究大学院大学教授はいまも事故調査委員の顔として忙しい。講演で各地を飛び回り、英語版も出して海外でも説明している。

「報告書が無視されて忘れ去れては困りますからね。報告書を生かすも殺すも政治次第。政治家は政局しか考えていないかもしれないが、政治家を選ぶのは国民。だから、国民に内容を理解してもらおうのは大事です。日本の将来にかかわる問題だから、機会あるごとに訴えているのです」

報告書では論客ぞろいの委員に「事実をもとに執筆を」と求め、委員の持論を封じた。が、緒言だけは自らの持論を連ねている。日本社会論に踏み込み、覚悟なきエリートたちの浅ましき、安全軽視を許した社会の深層の問題を提起した。批判もあったが、緒言の行間には思いが込められる。

「緒言には朝河貫一という約100年前の人物のことを書きました。朝河は福島県二本松市出身で早稲田大学の前



くろかわ・きよし 政策研究大学院大学教授。1936年東京都生まれ。62年東京大学医学部卒、医学博士。69～84年に米国滞在、79年UCLA教授。東大教授、日本学術会議会長、内閣特別顧問などを経て2006年から現職。国会の福島原子力発電所事故調査委員会委員長を務めた。著書は『イノベーション思考法』など。

若者よ「出る杭」に

造が現れ、その頂点は何と聞くと財務省と答え、それをさらに切り出して頂点を問うと事務次官と答える。では頂点に行くにはどうすればいいのかと問うと、東京大学法学部に行くとか答える。大企業の構造も同じで、いったん入ると組織が変わることもなく、年功序列で出世していく。「こんな構造、発想はほかの国ではありません。しかし、日本ではそれに疑いをはさまない。官庁、大企業のエリートは保身を優先し、お互いがなれ合って問題があってもなるべく先送りする。いざという時の覚悟もない。これが報告書で指摘した『単線路線のエリート』の問題です。彼らは変わらなければいけない時

も変わらない。バブル経済崩壊後の失われ た20年の正体はこれだし、事故を防げな かった要因で しょう」

「原発事故を契機にエリートたちが変われと言っても本 当に変わるのには、分りません。組織、発想を変えるにはものすごいエネルギーがいる。自力で変えようとするなら、期待できるのは若い人しかいないかもしれません」

異質育てて社会変えよ

敗れた。原発事故があって、同じような愚を繰り返すなどという警告です。政治家、官僚、産業人は言うまでもなく、国民の一人ひとりが自覚して変わらなければ日本の将来はないのです」

響したのか、「あまのじゃく」というか反骨精神ができてきたという。世の中はバランスが大事と、常に大勢派から距離を置く。その反骨精神で世を牛耳る偏差値エリートを鋭く批判し、それに感化されている社会を案じる。

「いま、日本の社会はどこを切り出してもピラミッド型 のヒエラルキー構造。頂点の部分を指して『日本社会でこ こは何』と聞くと、大体の人が覆か関、つまり官庁という。そこを切り出すとまた同じ構

「そもそも日本人全体にこ んな社会構造を当然と見る 『思い込み』がある。話をし ている、ヒエラルキーの中で お互いの位置づけが分からな いと会話にならず、不安にな る。ヒエラルキーを当たり前 と考える習性が言葉遣いにも 入り込んでいる。言語や文化 はともかく、安全軽視を許し た土壌にはこの『思い込み』 が潜んでいる。これは考え直 す必要があります」

「私はずねづね『出る杭を 育てよ』と言ってきました。 ハイリスクハイリターンの人 生を選ぶような人たちがな ければ、社会は変えられない。 日本にはそういう人たちがあ まりにも少ない。だが、全体 の1、2%でも居れば、世の 中を変える力になり得ます。 いまはネット社会だから、わ ずかの人でも社会変革の動き を広げられると思います」

「『思い込み』を排し、日本社 会を変えるためには異論、異 質、異端を育てたい」

「朝河を引用したのは、いま日本が変わらなければ必ず 将来ひどいことになるよと伝 えたかったから。日本は朝河の 警告を無視して戦争に突入し

「いまの社会構造を当然 と見る思い込みは捨てよ」

子供のころ、結核で死にか かった。それが精神形成に影

ち海外で暮らしてみれば、い い意味で愛国心が芽生え、日 本のおかしなところが分かっ てくる。日本ではよく、グロ ーバル発想と言う。だが、そ れは日本から見たグローバル 発想。世界が日本をどう見て いるかは、分かっていない。 感受性豊かな若者に外から日 本を見てもらえば、狭量な発 想から脱して世の中を変える 原動力になる」

「世の中を変えるには異質 が大事です。欧米には冒険心 あふれる人を輩出する文化が ある。有名大学を出ても安泰 な生活を求めず、アフリカな どに行くなど、リスクの高い 人生を選ぶ人たちがいる。日 本も一流大学を出た後にヒエ ラルキー構造の頂点を目指す のでなく、冒険をする人を育 てる必要がある。私はそうい う人たちに応援しています」

「思い込み」を排し、日本社 会を変えるためには異論、異 質、異端を育てたい」